



For the better life
and living of local people
~Gentleness and warmth
in the mind and body~

生活支援コーディネーターが大切にしている**14**のこと

~地域とのつながりが希薄な高齢男性の伴走支援から見た**6**つの景色~

たまふれあいグループ
医療法人 メディカルクラスタ
生活支援コーディネーター 川崎 千枝

2025年2月28日 川崎市 地域密着型サービス運用セミナー



たまふれあいグループ
Tama Pureai Group

たまふれあいグループのご紹介



法人理念

地域の人々の、よりよい生活と人生のために～ 心とからだに、ぬくもりとやさしさを～

人が人へ伝えるぬくもり・やさしさを大切にしながら、地域に必要なサービスを統合的に結んだネットワークを形成し、組織的なマネジメントで地域に住む人々に「最適なヘルスケア(健康管理)」を提供することを使命とする

●法人本部

多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2F

●事業内容

訪問診療／専門外来／訪問看護／訪問リハビリ／居宅介護支援／障害者就労支援／グループホーム／看護小規模多機能型居宅介護／デイサービス

●沿革

2012年 4月 たまふれあいクリニック開設

2015年11月 訪問看護ステーション 訪問看護 事業開始

2016年 8月 居宅介護支援 事業開始

2016年10月 訪問看護ステーション 訪問リハビリ 事業開始

2017年 3月 たまふれあいの森 事業開始

2017年 5月 たまフレ！就労移行支援 事業開始

2018年 3月 たまふれあいの家 枳形 グループホーム・看護小規模多機能型居宅介護 事業開始

2018年 4月 たまふれあいの家 枳形 認知症対応型デイサービス 事業開始

2019年 4月 たまフレ！就労継続支援B型 事業開始

2020年 6月 たまふれあいグループホーム 登戸新町 事業開始

2021年10月 デイサービスふれあい リニューアルオープン

2022年10月 川崎市事業「小地域における生活支援体制整備事業」受託

多摩区枳形
向ヶ丘遊園駅から徒歩16分
枳形山の中腹、坂道あり



生活支援コーディネーター（SC）の取組状況

～小地域福祉活動と個別支援の一体的実施～



生活支援コーディネーターが大切にしている14のこと



～ 「目の前のひとりの人を支える」に向けて ～

1

出会い方のプロ

- ・料理教室のお裾分けを持ってご自宅に
- ・行きつけの銀行の前で…



2

独りの「不安」を和らげる

- ・土日祝以外開所している地域カフェM
- ・カフェ店長「散歩のついでに寄ってくださいね」

開店前でも遠慮なく声掛けてくださいね！



3

意欲を引き出し、やる気や行動を後押し

- ・フローチャートでタイプ診断、一緒に見学
- ・「pasmのチャージやってみようかな」



ご自分に合った地域活動と一緒に探してみませんか？



4

特技や趣味のおすそわけ

- ・元左官職人「包丁研ぎボランティア」「壁塗り」
- ・野球に関するボランティア

包丁研ぎ
すご～い！
またお願いします



生活支援コーディネーターが大切にしている14のこと



～ 「つながり」に向けて ～

5

本人のつながりを大切にする

- 野球審判時代行きつけだった中華料理屋さん
- 亡くなった奥さんの知人でご近所に住むXさんYさん



元気にしてる？



6

地域のつながりを大切にする

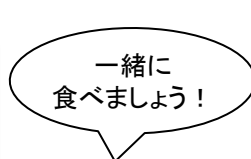
- 行きつけのクリニック、スーパー
- 野球少年を見守る地域のおっちゃん



7

これからのつながり(新たな出会い)

- 料理教室のメンバー
- 野球少年とその保護者



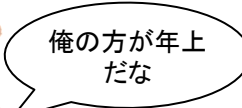
一緒に
食べましょう！



この包丁
よく切れるわね



味見して！



俺の方が年上
だな

生活支援コーディネーターが大切にしている14のこと



～ 「事業所の心構え」 ～

8

できないことではなく、できることに目を向ける

- ・ 散歩が日課、3食自炊、月1回バスで銀行にお金をおろしに行く
- ・ ICFシートの活用(強み・弱み)

9

まず、協力者を探し、使えるものから使う

- ・ 地域カフェM、地域に精通し人情味のある店長さん
- ・ カフェ店長、包括と作戦会議！

10

支える側と支えられる側を明確にしない

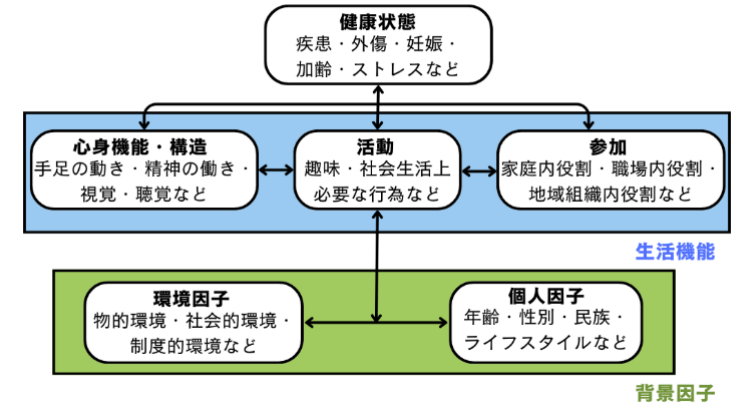
- ・ 「包丁研ぎ2回もすっぽかれたか今度こそ来てよね」
- ・ 「切れ味が悪いから包丁で指を切るんだよ」

11

アンテナを高く張る(情報の収集や蓄積、接続)

- ・ アパートをリフォームして地域活動を始めたいオーナーさん
- ・ ポールウォーキングの会

ICF (国際生活機能分類) モデル



～ 「事業所の心構え」 ～

12

本人主体(その人の暮らしたいを支える、その人らしいを支える)

- ・「その人らしい」→「ありのままの自分を受け入れてくれる」
- ・「みんなAさんを仲間だと思っている」を伝える

13

居場所づくり(居場所・居心地・居方)

- ・包丁研ぎが自分の役割=居場所→「楽しい」
- ・料理教室のメンバーが「Aさん」の存在を認識

14

地域の多世代にも目を向ける

- ・野球少年と立ち話
- ・少年野球でお世話になった子どもの保護者

～



包括職員

Aさんが思っている以上に、みんなAさんのこと知ってるから

Aさん来ないわね
体調悪いのかしら



Aさん
待ってるよ～

野球の話
しようよ



体操教室にも
来てよ



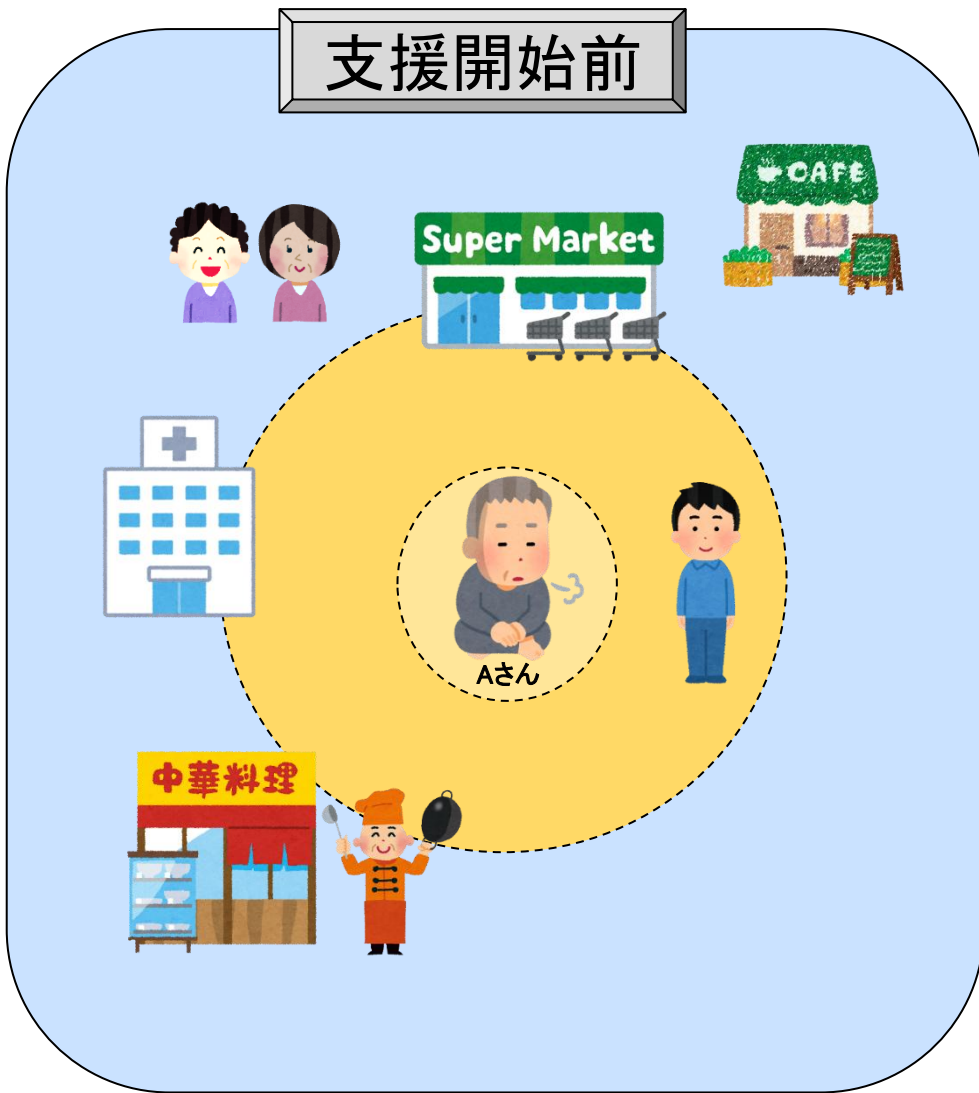
Aさんには
お世話になった
のよねー



ご本人を取り巻く地域のつながり



支援開始前



支援終了後



- ◆生活支援コーディネーターが関わることで、ご本人のパーソナルスペースや支援の輪が広がり、これまで距離があった地域カフェや知人との顔の見える関係ができた
- ◆「包丁研ぎボランティア」という社会的役割と通いの場を持つことで、空気のような存在だったAさんが地域の一員として受け入れられつつある(まだスタート地点)
- ◆あんしん暮らしサポート事業での伴走支援は終了しても、生活支援コーディネーターとして見守り続けられることが本人と地域の方の安心材料にもなっている

生活支援コーディネーターが見た6つの景色(まとめ)



①ご本人の輝く瞬間＝居場所を見つけた瞬間

Aさんが特技を活かしたボランティアで役割を持つことで輝き、地域活動のなかでの自分の居場所を見つけ、初めて「楽しかった」という気持ち(リア充)が芽生えた

②地域におけるご本人の存在感

空気のような存在だったAさんのことを複数の近隣住民が「顔見知り」と認識し、見守りの目が増えた

③互助意識が芽生えた住民たち

Aさんとは会えば話をする程度の仲だった知人に「昔なじみのAさんのためにひと肌脱ぎたい」という気持ちが生まれ、Aさんも「包丁研ぎぐらいならやってあげるよ」と助け合う気持ち(互助意識)が生まれた

④元気なうちだからこそ見ることができた光景

問題が深刻化する前にSCとして早目に出会い、Aさんも知人も「自力でカフェに通える」体力や意欲が保たれていたからこそ、温かみのある対面での心の通う交流が実現した

⑤『孤立させない』地域の空気感

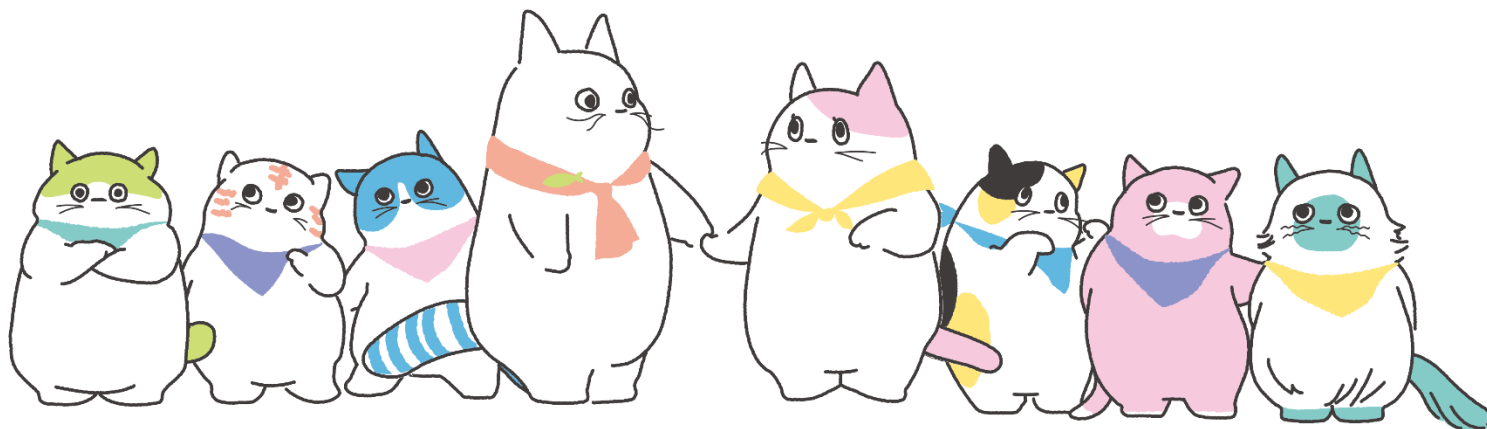
地域カフェを起点に近隣住民に「みんなでAさんのような独居の方を孤立させないようにしよう!」という機運が高まり、包み込むような空気感が漂う地域に変わって見えた

⑥役割分担(バトンタッチ)と連携プレーが地域をつくる

SC事業所だけで完結せず、地域包括や地域住民(まちの応援団)と連携し、役割分担をしながら地域のネットワークを活かしてみんなで伴走することで「地域づくり」につながった



ご清聴ありがとうございました



たまふれあいグループ

Tama Fureai Group